

2005 年 4 月 28 日

2004 年度「教育研究支援プロジェクト経費」成果報告書

プロジェクトチームの代表者 部・講座等名 社会系教育講座

氏 名 立岡 裕士

プロジェクトの名称	教員養成課程における GIS 教育推進のための実践的作業 －GIS 講習会開催および GIS 用データの作成－	配 分 予 算 額	925000 円
プロジェクトの概要	本プロジェクトは、教員養成課程に必要な最低限の GIS 教育（GIS ミニマム）の準拠枠を作り出すことを目的としていた。そのために、①教育内容について先行事例（筆者ら自身のものも含め）について理論的に検討するとともに、②県内学校へのアンケート調査によって需要の実態を調べ、③それを勘案した GIS 講習会を実施することでその内容を洗練することともにそれに必要な教材・データを開発する計画であった。 このうち、アンケート調査および GIS 講習会は諸般の事情により実施できなかった。教育内容の検討は既存の授業および大学説明会における施設公開の一環としての GIS 体験教室を通して行うにとどめた。ただし、自習用の資料として MANDARA および ArcView への導入の手引きを作成して公開した。自由に利用できる地図データの整備は木沢村について作成した。 なお、被災地図ないしは防災地図データを作成することは本プロジェクトの本来の課題では必ずしもなかったが、2004 年の自然災害の頻発および防災教育が重視されている現状に鑑み、そうした作業の方法についても検討を行った。		
成果の概要	1 上記のように、当初構想していた講習会を実施することはできなかったが、学部・大学院での授業（地誌学特論・人文地理学研究Ⅱ）での経験を踏まえ、GIS 教育を有機的に組み込んだ地図教育関係の授業を 2005 年度から学部・大学院において開設することができた。 2 現職教員に対する長期的な講習会の実施には困難が多いが、10 年次研修などの機会に実施するべき簡易なものについては一応の資料が完成した。 3 地図データの作成は台風 11 号で深甚な被害を受けた木沢村についてまず作成した。ただし、本作業に必要な作業量は当初の見込みを大幅に上回るものであり、遺憾ながら 2004 年度中に徳島県内の多くの部分について空間データ基盤を補うデータを作成するという計画は実行できなかった。 4 被害地図・防災地図作成については防災教育に関しては、台風 23 号による被災を契機として、地元の鳴門西地区自治振興会および鳴門西小学校との間で話し合いを行った。		